



サキドリ事業を活用して職員研修を行いました。この研修では、職員が自らの授業方法を見直し、探究学習を実践することを目的としています。



研修の最初に「侵略ジャンケン」を用いてアイスブレイクを行いました。教育委員会からも3名参加されていましたが、ユニークなジャンケンを通じて、職員もリラックスし、チーム決めを楽しく行うことができました。



チームに分かれた後、日頃の自分たちの授業を見つめ直し、探究学習についてディスカッションを行いました。互いの意見を共有することで、教室での具体的な改善点を見つけることができました。





アクティビティ

お菓子の最強運搬具を作ろう！



実践活動

次に、各チームで「お菓子の最強運搬具」を作る実践活動を行いました。この活動では、創造力と協力が試され、チームでさまざまなアイデアを試していました。



SE発表までのスケジュール確認

実践活動の後、SEの発表に向けて今後のスケジュール確認を行いました。また、総合的な学習の時間の年間カリキュラムを作成し、今後の教育活動の計画を立てました。

まとめ

今回の研修を通じて、職員は探究学習の重要性を再認識し、実践的なスキルを身につけることができました。今後も継続してこのような研修を行い、教育の質を向上につなげていきたいと思えます。